

株式会社かほく・上品の郷

- (1) 情報公開シートⅠ（P D C Aサイクルシート）
- (2) 情報公開シートⅡ（財務諸表等）
- (3) 情報公開シートⅡの補足資料
- (4) 市が期待する役割、市意見書等
- (5) 定款又は寄附行為
- (6) 役員名簿
- (7) 事業報告書
- (8) 損益計算書又は正味財産増減計算書
- (9) 貸借対照表
- (10) キャッシュ・フロー計算書
- (11) 財産目録
- (12) 事業計画書

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日 平成 30 年 6 月 23 日

市所管部署 石巻市 河北総合支所地域振興課

2 法人名称等

法人名称 株式会社かほく・上品の郷
 法人所在地 石巻市 小船越字二子北下1番地1
 設立年月日 平成 16 年 10 月 22 日
 代表者職・氏名 代表取締役 太田 実

設立目的・経過

道の駅「上品の郷」の維持管理及び運営の受諾を行う事を目的とする。平成17年3月 指定管理者に指定 管理に関する協定書締結 平成18年4月石巻市の指定管理者に指定 石巻市との管理に関する協定書締結

3 定款上の事業内容

- (1) 石巻市及び他公共団体が設置する施設（道の駅）の維持管理及び運営の受諾業務
 (2) 書籍・日用品雑貨・食料品・たばこ・酒類・農林水産物の販売事業
 (3) 食堂施設の経営事業
 (4) その他前各号に付帯する一切の業務
 (5)

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産総額	石巻市出資・出捐額	石巻市出資・出捐割合	市以外の出資・出捐者	市以外の出資・出捐額	市以外の出資・出捐割合
50,450	45,000	89.2	個人	100 千円	0.2 %
			個人	100 千円	0.2 %
			個人	100 千円	0.2 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員状況

	H27期末	H28期末	H29期末
常勤	1	1	1
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	1	1
非常勤	6	6	6
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	1	1	2
計	7	7	7
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	2	2	3

(2) 職員状況

	H27期末	H28期末	H29期末
常勤	13	14	14
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	64	62	70
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
計	77	76	84
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

- ・お客様に対するサービスを最大限に心がけ、経営の合理化と節減をはかり、地域に貢献できる企業として成長する。
- ・日本全国の皆様から愛され、親しまれ、また行ってみたいと言われる施設として、地域活性化に貢献する。

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度期
純売上高	千円	目標計画	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
		実績	926,233	888,564			
目標・指標の説明			法人売上高に法人以外の売上高（農産物直売所出品者の売上等）を加えた、道の駅全体の売上高である純売上を指標とし、目標として年間10億円を設定				
目標未達の場合の要因分析			毎月社員全員で協議を行っている改善会議で分析をし、新しい取組みを実施する				

目標項目・指標	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度期
		目標計画					
		実績					
目標・指標の説明							
目標未達の場合の要因分析							

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
道の駅 管理運営業務	三陸道の延伸が進み、また市内に大型観光施設「元気いちば」がオープンしたことで、観光客が分散し、厳しい経営となりましたが、テレビや地元紙、無料のフリーペーパー等を活用した情報発信に努めマイナスを最小限（4%）に抑えました。	楽しみ方が多様化し、車中泊も増え、夜間の配慮が必要となります。これまでも、多くのイベントを実施してきましたが、今後は、各道の駅同士が一体となったイベントやPRを展開するなど、広域での対応が益々重要になると思われます。	三陸道4車線化工事と河北インター改修のため、工期1年間封鎖の申し入れがあり、交渉を重ね、夜間閉鎖を含め7ヶ月間（実質昼夜閉鎖101日間）の工事にして頂きましたが、売上も大きく落込み、非常に厳しい年度でした。
事業の公共性、公益性	社員一同笑顔を決めず、お客様を感謝の心でお迎えし、常に奉仕の心で対応することを心がけております。レストランでは、地場産品の手作り料理を、直売所では安心安全な商品の販売に努めることはもちろん、トレーサビリティの充実も図っております。また環境に配慮したCO2見える化にも取り組みながら、お客様に憩いと安らぎ、そして安心安全な商品等を提供し、体の健康だけでなく心の健康にも配慮した事業を行っております。		

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
事業の公共性、公益性	同志		

9 市が期待する役割、市意見等（担当部署記載）

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

団体名称	株式会社かほく・上品の郷
------	--------------

1 財務諸表（金額単位：千円）

	借方（科目）	平成27年度期	平成28年度期	前期増減	平成29年度期	前期増減
		流動資産	214,865	220,878	6,013	210,003
	うち 現金・預金	200,034	206,507	6,473	194,051	▲ 12,456
	固定資産	65,964	62,341	▲ 3,623	56,193	▲ 6,148
	有形固定資産	42,444	38,842	▲ 3,602	32,740	▲ 6,102
	無形固定資産	740	691	▲ 49	642	▲ 49
	投資その他の資産	22,780	22,808	28	22,811	3
	資産の合計	280,829	283,219	2,390	266,196	▲ 17,023
	貸方（科目）	平成27年度期	平成28年度期	前期増減	平成29年度期	前期増減
		流動負債	78,238	75,752	▲ 2,486	75,584
	うち 短期借入金					
	固定負債	46,830	50,345	3,515	48,872	▲ 1,473
	うち 長期借入金					
	負債合計	125,068	126,097	1,029	124,456	▲ 1,641
	純資産	155,762	157,122	1,360	141,740	▲ 15,382
	うち 資本金	50,450	50,450		50,450	
	うち 資本剰余金					
	うち 利益剰余金	105,312	106,672	1,360	91,290	▲ 15,382
	うち その他					
	負債・純資産の部合計	280,830	283,219	2,389	266,196	▲ 17,023
損益計算書（P/L）	科目	平成27年度期	平成28年度期	前期増減	平成29年度期	前期増減
	売上高	492,479	457,191	▲ 35,288	437,017	▲ 20,174
	売上原価	174,958	162,347	▲ 12,611	151,706	▲ 10,641
	売上利益	317,521	294,844	▲ 22,677	285,312	▲ 9,532
	販売費・一般管理費	317,011	297,633	▲ 19,378	305,146	7,513
	営業利益	510	▲ 2,789	▲ 3,299	▲ 19,834	▲ 17,045
	営業外収益	5,760	4,965	▲ 795	5,482	517
	営業外費用	1,894	93	▲ 1,801	1,036	943
	経常利益	4,376	2,083	▲ 2,293	▲ 15,388	▲ 17,471
	特別利益	3,150		▲ 3,150		
	特別損失	6,150	83	▲ 6,067	24	▲ 59
	税引前当期純利益	1,376	2,000	624	▲ 15,412	▲ 17,412
	法人税等	▲ 86	640	726	▲ 30	▲ 670
	当期純利益	1,462	1,360	▲ 102	▲ 15,382	▲ 16,742

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
 ※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）

区分	平成27年度期	平成28年度期	前期増減	平成29年度期	前期増減
	営業活動によるキャッシュフロー	6,729	8,785	2,056	▲ 10,381
税引前当期純利益	1,376	2,000	624	▲ 15,412	▲ 17,412
減価償却費及び引当金の増減額	15,291	9,447	▲ 5,844	8,227	▲ 1,220
受取利息及び受取配当金	▲ 50	▲ 37	13	▲ 18	19
営業活動に係る資産及び負債の増減	▲ 8,151	▲ 1,895	6,256	▲ 1,383	512
利息及び配当金の受取額	50	37	▲ 13	18	▲ 19
利息等の支払額					
法人税等の支払額	▲ 1,787	▲ 767	1,020	▲ 1,813	▲ 1,046
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 5,006	▲ 5,862	▲ 856	▲ 2,577	3,285
有価証券の増減額					
有形固定資産等の増減額	10	▲ 5,796	▲ 5,806	▲ 2,123	3,673
投資有価証券の増減額		▲ 11	▲ 11	▲ 503	▲ 492
貸付金の増減額					
その他の固定資産等の増減額	▲ 5,016	▲ 55	4,961	49	104
財務活動によるキャッシュフロー	2,812	3,514	702		▲ 3,514
短期借入金の増減額					
ファイナンス・リース債権等の増減額					
長期借入金の増減額					
資本金等の増減額					
配当金の支払額					
その他固定資産等の増減額	2,812	3,514	702		▲ 3,514
現金及び現金同等物に係る換算差額					
現金及び現金同等物の増減額	4,535	6,437	1,902	▲ 12,958	▲ 19,395
現金及び現金同等物期首残高	56,200	60,735	4,535	67,172	6,437
現金及び現金同等物期末残高	60,735	67,172	6,437	54,214	▲ 12,958

（※1）負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

（※2）支出は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

2 市による財政・金融支援等（金額単位：千円）

区分	平成27年度期	平成28年度期	前期増減	平成29年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）					
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）					
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）					
委託料及び指定管理料					
借入金（期末残高）					
短期借入金					
長期借入金					
出資・出捐（期末時）	45,000	45,000		45,000	
債務保証額（期末残高）					
損失補償額（期末残高）					
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）					

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。

※財務諸表を添付すること。

情報公開シートⅡ補足資料

法人名：株式会社かほく・上品の郷

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

売上が減少した分、預金は変わらないが現金は流れが速く、12,456千円減少した。有形固定資産の減価償却が昨年よりも6,102千円減少している。
貸借項目での重要な数値「自己資本率」は50%台を維持している。
(当期：53.2% 前期：55.5% 前々期：55.5%)

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
流動資産	対前期△10,875千円 4.9%減	売上減に伴い、現金の流れが増えた
有形固定資産	対前期△6,102千円 15.7%減	減価償却に伴い減少
純資産	対前期△15,382千円 9.8%減	売上減少によるもの

2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

(1) 総括分析

来店者数及び客単価が減少したため、売上高が減少した。それに伴い、商品仕入高、売上原価も減少している。
総売上高が減少し、一般管理費である、燃料費、電力料金の引上げにより経費が増えた。
更に、保険料、衛生管理費、給与手当などが増加したことで純利益が初のマイナスとなった。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容	変動要因
販売費・ 一般管理費	対前期7,513千円 2.5%増加	給与手当2,593千円増加、衛生管理費2,282千円増加、電力費2,486千円増加、燃料費2,277千円増加によるもの

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

営業活動によるキャッシュフローは当期末で▲10,381千円と前期と比較すると19,166千円減少している。同業者の増加による利用客の分散が主な理由と考えられる。
 投資活動、財務活動による、キャッシュフローと併せてみても、当期末での現預金が12,958千円減少している。資金繰りについては、当期損益を計上したものの、これまでの貯えがある為、特に問題は無いながらも資金の流れはこれまで以上に意識していく必要がある。

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項目	変動内容	変動要因
有形固定資産の増減額	対前期3,673千円増	構築物、機械装置、建物などの償却額の変動によるもの
税引前当期純利益	対前期17,412千円減	売上減少による利益の減少

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額(単位：円)	補助金の使途

(2) 市からの委託業務等（指定管理含む）の状況

委託業務の名称	委託料(単位：円)	委託業務の内容

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額(単位：円)	減免理由

市が期待する役割、市意見等（別紙）

法人名：株式会社かほく・上品の郷

担当部署名：河北総合支所地域振興課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（1）中間的な経営目的・事業計画

売上高は対前年38,000千円弱のマイナスとなり、開設以来初の赤字決算となった。それでも、震災前の平均売上に比べ1億円以上も上回っており、当時、十分利益を確保していたことを踏まえると、経費の見直しの余地があると思われる。

入居が始まった近隣の二子団地住民の固定客化や分散した観光客への周遊策を高じながらも、これまで同様、経営理念通りの明るい接客を忘れず地域活性化に貢献し続けることを期待する。

（2）主要事業の成果、課題

各方面からの評価は高く、多くの視察を受け入れている。29年度は国土交通省より特定テーマ型モデル「道の駅」（地域交通拠点部門）に認定された。

三陸道の延伸に加え、その沿線に「道の駅」三滝堂が、市内には「元気いちば」がオープンしたことで、客足が分散した。そのような中、情報発信や話題作りに努めマイナスを最小限に抑えた。

今後も新規客、周遊客の呼び込みとリピート率アップの両輪での対策が重要である。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表等）に対する意見

（1）貸借対照表

負債は、ほぼ横ばいであるが、純資産は利益がマイナスした分、約10%減少した。その結果、資産全体として約6%の減少となった。

（2）損益計算書又は正味財産増減計算書

売上高の減少に伴い売上利益が減少。一方で販売費・一般管理費が2.5%増えたため営業利益が大きく減少した。

(3) キャッシュフロー計算書

営業活動によるキャッシュフローが19,166千円マイナスしたうえで、投資活動によるキャッシュフローも前年に比べ3,285千円増えたため、現金及び現金同等物が12,958千円減少した。

(4) 市による財政・金融支援等

市からの財政支援は、現在のところ会社設立時の出資のみ。

3 法人に対し市が期待する役割等(担当部署所感)

情報や交流の拠点施設として、道路利用者や地域住民等に対し、より一層親しまれるようサービスの向上及び運営の効率化に努められることを期待する。
また、当市の災害時支援協定施設、並びに全国のモデル「道の駅」として信頼性を益々高められると同時に、道の駅ブランドを先導し築かれていくことを祈念する。